

【資料 4】

甲賀市市民参画・協働推進に係る実施計画の検討について (検討案)

1. 計画の必要性

住民自治に基づく自治体運営の基本原則を定めた「甲賀市まちづくり基本条例」に基づき、市民協働のまちづくり施策を総合的かつ計画的に推進するため、関連する実施計画の策定が必要と考える。

2. 計画の概要

(1) 実施計画名

【例】 甲賀市市民参画・協働推進計画

(2) ポイント

- ① 甲賀市市民参画・協働推進検討委員会との連携による計画策定
- ② 甲賀市まちづくり基本条例と第2次甲賀市総合計画との連動
- ③ 令和4年（2022年）3月の計画策定を目標

【例】 ・令和3年 1－3月 策定スケジュール 計画概要設定
・令和3年 4－6月 現状と課題の分析
・令和3年 7－9月 施策の設定
・令和3年10－12月 計画素案作成、パブリックコメント
・令和4年 3月 計画策定

(3) 計画構成（イメージ：他自治体参考）

1	策定趣旨 (1) 策定主旨 【例】 急激な人口減少や少子・高齢化の進展、地域コミュニティの低下などが進み、地域課題の解決が困難になる中で、多様な主体の参画を促すとともに、多様な主体の協働によるまちづくりを推進し、持続可能で活力ある地域社会を実現していくため、「甲賀市市民参画・協働推進計画」を策定する。 (2) 位置付け 【例】 甲賀市まちづくり基本条例、第2次甲賀市総合計画 第2期基本計画との連動 (3) 計画期間 【例】 第2次甲賀市総合計画 第2期基本計画との連動
---	---

2	<p>各主体の現状と課題</p> <p>(1) 各主体別の課題 【例】 甲賀市市政に関する意識調査の結果、意見交換会の結果、等</p> <p>(2) 課題解決に必要な仕組み 【例】 課題に対する必要な解決策の集約</p>
3	<p>基本方針</p> <p>(1) 基本的な考え方 【例】 地域課題の解決に必要な市民協働の仕組みを、多様な主体が知恵を出し合い、協働で作り上げながら、段階的に推進していくことで、幅広い主体が地域の社会課題解決に参画する市民協働のまちづくりを推進する。</p> <p>(2) 基本理念 【例】 甲賀市まちづくり基本条例（まちづくりの基本理念）</p> <p>(3) 各主体の役割 【例】 甲賀市まちづくり基本条例（各主体の役割：市民、区・自治会、自治振興会、事業者、等）</p>
4	<p>基本施策</p> <p>【例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 多様な主体の協働を進める仕組みづくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 甲賀市市民協働事業提案制度 ● 地域づくりを推進する仕組みづくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域市民センター機能 ・ 自治振興会交付金 ・ 地域カルテ ● みんなで議論する話し合いの仕組みづくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 円卓会議 ● 新しいお金の流れを事業支援に活用する仕組みづくり ● 新しい形の共助を構築する仕組みづくり ● 情報共有・活用を図る仕組みづくり ● 協働の担い手を育成・確保する仕組みづくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民活動応援講座 ● 市が保有する情報を活用して課題を解決する仕組みづくり ● 先端技術を活用した地域課題を発見・解決する仕組みづくり
6	<p>計画の目標</p> <p>(1) 目標数値の設定 【例】 第2次甲賀市総合計画 第2期基本計画との連動</p>
7	<p>推進体制</p>
8	<p>評価と見直し</p>

=以上=